

みよし

議会だより

182

2021年11月1日発行



令和2年度決算審査

一般質問

三芳町ごみ分別アプリがスタート!!

▶ p.2

▶ p.12

▶ p.20

▶ 表紙写真に関する記事が23ページにあります。

議会だより発行月

2月

5月

8月

11月

次の発行は2月1日の予定です。

過去最大規模

令和2年度決算審査 が行われました

令和3年
第5回 定例会
(8月30日～9月24日)

一般会計決算額

歳入

総額

184億 2277万 6535円

(前年度比 48億 2171万 9588円増)

歳出

総額

174億 1538万 9592円

(前年度比 43億 5357万 6460円増)

三芳町監査委員の意見

令和2年度の一般会計は財政の弾力性を判断する経常収支比率(※1)は91.4%(4.3ポイント減)、将来負担比率(※2)は100.2%(4.9ポイント減)、実質公債費比率(※3)は10.9%(0.1ポイント増)となっており依然として厳しい状況である。

歳入において、国庫支出金、地方消費税交付金及び繰入金の増加に伴い、歳入決算額が前年度比で35.5%増加した。主要な自主財源である町税は前年度比3.0%増となり、自主財源比率は53.6%なり、依存財源である町債の発行額は歳入総額に対する町債比率は4.1%となった。町債は世代間負担の公平化や事業実施の財源として必要であると考え、次世代以降の負担を伴うものであることから、今後も中長期的な視点に立ち、起債対象事業を選択することが必要であると考え。

歳出においては決算額が前年度比で33.3%増加した。主な要因は特別定額給付金や地方創生臨時交付金に係る事業の実施によるものである。

町税収入は増加し、財政構造の弾力性を示す経常収支比率も改善しているが、新型コロナウイルス感染症拡大により、先行きが不透明な経済状況が続くことが予想される。施策の実施に当たっては、中長期的な視点に立ち、財源の確保及び対象事業の選択をされたい。特に補助団体については、新型コロナウイルス感染症拡大による事業中止等により、支出額が前年度に比べ減少している団体や支出額が補助額を下回っている団体が見受けられた。各団体の決算や繰越金、事業内容を十分に精査し、補助金額を見直すなど、補助金の適正な執行に努められたい。

町行政全般においては、常に住民の目線に立ち、より効率的かつ効果的な財政運営を進め、一層の財政健全化と住民サービスの向上に積極的に取り組まれることを期待するものである。

(令和2年度 三芳町一般会計・特別会計決算審査意見書 一般会計むすびを要約)

8月30日から第5回定例会が9月24日までの26日間の日程で開かれ、補正予算案5件など議案10件、報告5件、同意1件、令和2年度の会計決算認定6件の他、住民からの請願2件、議員発議の会議規則の改正が1件、意

見書が3件上程、審議されました。審議の結果については11ページに掲載してあります。一般質問は13名の議員から通告書が提出され、4日間にわたって町政への質問、提案が行われました。

新規事業の決算は？ (議会だより 176号掲載事業)

学校給食公会計

(町予算とは別会計で運営されていた学校給食を町予算に組み込み、教職員の負担軽減を図る)

予算額 1億 3807万 1000円

決算額 1億 3415万 7465円

乳がん検診(個別受診)

乳がん検診を集団検診だけではなく個別検診でも受診可能としたもの

予算額 82万 6000円

決算額 54万 1915円

風しんに対する抗体検査・予防接種

(従来の予防接種事業に、乳児を対象としたロタウイルスワクチン(10月から)と成人を対象とした風しんに対する抗体検査・ワクチン接種を追加する)

予算額 775万 5000円

決算額 358万 1533円

ロタウイルスワクチン接種事業

予算額 468万 6000円

決算額 259万 1633円

自転車マナー向上事業

(自転車の安全利用の啓発推進のため、ヘルメット購入の補助枠を拡大し、町内各所で自転車教室を開催する)

予算額 55万 3000円

決算額 17万 8603円

ご当地ナンバープレート(※4)交付事業

(50cc・90cc・125ccのオートバイ用に町独自のデザインナンバープレートを作成、希望者に交付する)

予算額 37万 8000円

決算額 36万 5992円

※記念ガイドブック作成事業は令和3年度に繰り越しされました



昨年は大変な一年だったけど、町のお金はどのように使われたのかな？

令和2年度の決算審査は？

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大を原因とした事業の中止や縮小も多く、5億円余りの不用額が出ることになりました。

また、国からの特別定額給付金事業補助金(約38億円)や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(約3億円)などもあり、それらをコロナ禍の住民支援策に充てるなど、11回も補正予算が組まれ当初予算とは大きく様変わりしました。

ただ、その都度議会でもしっかりと審議したので、ご安心くださいね。



コロナ禍で収入が減った家庭も多いようだけど、町の税収などは大丈夫なのかい？

町税に関してはコロナ禍前の令和元年度の影響も大きいので、令和2年度にはそこまで影響が見られませんが、これから徐々に数字として表れてくると思われます。

公債費(借金返済額)が減ってきたとはいえ、今後も大型事業がいくつか計画されていますから、監査委員さんも仰っているように中長期的な視点から財源確保や実施する事業の選択が必要になってくるのではないのでしょうか。



これからますます大変かもしれないけれど、私たちの代表として、しっかりと住民の声を届けてくださいね。

令和2年度三芳町決算特別委員会



委員長

鈴木 淳

副委員長

吉村美津子

委員

久保 健二	内藤美佐子
桃園 典子	細田 三恵
林 善美	菊地 浩二
落合 信夫	増田 磨美
本名 洋	細谷 光弘
山口 正史	

委員長報告

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、特別定額給付金給付事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などをはじめとした追加事業が例年と比べて非常に多く、一般会計では年度当初の予算総額125億9500万円から決算額では182億3615万7800円と大きく変動した年度であり、各事業の執行状況やその効果、事業の中止・縮小による減額補正や生じた不用額の点において多くの質疑がなされました。

審査後の委員間の自由討議では質疑の経過を踏まえ、委員から出された意見について一つ一つ討論を行い、以下の委員会総意の意見として合意されました。

- 今後の予算決算審査全体にかかわるものとしては、
- ①事業別予算説明書と事業別決算説明書の事業概要の記載には整合性を持たせ、比較しやすい表記にするべき
 - ②今回は緑地保全事業に見られたが、予算可決前の準備行為の範囲について、執行部と議会との認識に隔たりがある。今後の円滑な審議のためにも共通認識を持つべき
 - ③県証紙や切手といった現金化できるものの期首、期末残高を第三者がチェックする仕組みを作るべき

また、各種事業においては

- ①町の公共交通対策は町にとって大きな課題となっているが、いまだ改善には至っていない。既存の支出にとらわれず新しい公共交通の検討を加速するべき
- ②コロナ禍でも住民相談や女性相談が実施されたのは評価できる。住民にとって重要な相談事業は今後もしっかりと継続するべき

- ③がん検診や健康診査の受診率はまだまだ十分とは言えないが、乳がん検診では無料クーポン事業に従来の集団検診だけではなく個別検診を導入したことで受診率の伸びが確認された。今後も町民の健康と命を守るために、受診しやすい環境整備に努め受診率の向上を目指すべき
- ④学校施設工事・修繕において令和2年度の対応に「経過観察」との項目が多数ある。現場の状況を確認し、早急な対応の必要なもの、緊急性のあるものについては十分な財源確保をして対応するべき
- ⑤学校体育館の照明は水銀灯であるが、2020年に生産終了となったため交換単価が上がっている。今後は器具本体の交換も視野に入れた対応が求められる
- ⑥児童生徒へのタブレット購入費は2億6290万円。将来確実に訪れる機器の入れ替えに対して国からの支援が確定していない以上、町独自で対応できるように検討を進めておくべき
- ⑦旧島田家屋根の補修などは公共施設マネジメントなどでの修繕計画が策定されていない。町の貴重な文化財保護のために修繕計画の策定とその実施が求められる

以上が委員総員の意見です。

執行部にはこれらの意見を重要視していただき、今後の予算編成や財源支出に取り組んでいただきたいと思います。

なお、採決の結果、一般会計、特別会計、企業会計全6件の全てにおいて「賛成総員」もしくは「賛成多数」として「認定すべきもの」となりました。

主な質疑内容

県証紙購入費

問 決算書を見ると県証紙が100万円分以上残っているようだが、残高のチェックはどのように行っているか。

答 年度末に残った証紙は次年度も用意しておく必要があるため、会計課でそのまま保管している。

問 期首と期末の数だけでも第三者がチェックできる体制が必要では。

答 会計課で毎月確認はしているが、より管理を徹底できる方法を検討していきたい。

町政施行50周年記念ポロシャツ

問 当初予算では500着作成し400着販売する予定だったが、実際に売れたのは234着。残が出た要因は。

答 コロナ禍で様々な事業が中止、延期となり、そういった場所での販売ができ

なかった。

問 今後の活用方法は。

答 引き続き町のイベント等で活用していきたい。

問 頒布代金は令和3年度予算に計上されていないのでは。

答 必要であれば補正予算で計上する。

問 町政施行50周年記念というところで売るにしても期限があるのでは。

答 町政施行50周年記念事業は今年も順延になりそうだが、その式典に合わせて販売していく。

職員用事務椅子購入

問 椅子の購入数が予算時の説明より多くなっているが。

答 職員用の事務椅子は老朽化もあり、3年間で180脚を用意する計画で、令和2年度は60脚の購入を予定していたが、入札の結果安価で揃えられたので追加購入した。

問 では入札で余ったお金は他にどんな使えるところになってしまおうが、ガイドラインや規則はないのか。

答 入札によって生じた差

益は残すのが当然だが、次年度の購入予算が足りないこともあり、財政担当と相談の上、職員の健康上も必要ということで予算の範囲内で追加購入した。

問 そうであれば補正予算等で議会に説明があるべきでは。

答 議会に補正予算等で説明をすべきだったかもしれないが、急遽の椅子の破損もあり、対応した。

緑地保全事業

問 平地林整備業務の補正予算可決は12月11日だが、12月3日に入札の公告が行われている。準備行為として、議決前にここまでやるのか。

答 業務の履行期間を確保するためには12月の入札を行う必要があったため、補正予算可決前であったが入札の公告、指名を行った。

問 開会日の11月30日に先議すれば良かったのでは。

答 事前準備行為に法的問題はないが、先議という方法もあった。今後の予算編成では指摘を踏まえてより適当な手続きを考えていく。

がん検診

問 個別検診の受診率は。

答 肺がん検診34・7%、大腸がん検診29・1%、子宮頸がん検診19・7%、胃がんの内視鏡検査3・9%、乳がん検診26・5%。

問 乳がん検診は集団検診での受診率が14・7%、個別検診を入れたことにより受診率が上がっているようだが見解は。

答 乳がんの個別検診は令和2年度に始めたばかりだが、コロナ禍のための検診受診率が軒並み下がっている中、乳がんに関しては良く受診してもらえた。

子どもの貧困実態調査

問 調査の結果はどのように活用するのか。

答 今後子どもの貧困対策推進計画を策定する際の参考にしたい。

問 今回の調査対象は就学前児童、小学校5年生、中学校2年生の親子だが、富士見市では20歳までの対象となっている。全学年を対象としても良かったのでは。

答 児童の定義が18歳までのため今回は対象を絞ったが、今後同様の調査をする

ときには検討したい。

自転車マナー向上事業

問 予算では300人分のヘルメット購入補助金が計上されていたが、74人の申請。周知はどのように行っただのか。

答 小学生には全校に通知を配布し、町のホームページや広報でも周知した。自転車安全教室などで高齢者への周知も予定していたが、コロナ禍で実施できず、利用した高齢者が1名だった。



音楽のまち三芳創生事業

問 この事業は町内で眠っているピアノの寄付を募るということだが、何台の申し出があったのか。

答 応募は9台あったが、状態等の診断をして5台の応募を受けた。

賛
討
成
論

公明党

長引くコロナ禍での影響により様々な状況変化への対応で難しい財政運営が続いているなか、太陽の家の完成、図書館ブックシャワーの設置、ご当地ナンバープレートの交付、文化財収蔵庫の借上げ終了など公明党が進める事業が実施されたことを評価し賛成とする。

賛
討
成
論

輝

歳入の大部分を占める町税は令和2年度当初予算額を大きく上回りコロナ禍の影響はまだ見られなかったが、今年度は税収減から8年ぶりに地方交付税交付団体に移行することになった。執行部には将来を見据えた計画的な予算編成によって、持続可能なまちづくりを行うことを期待する。

反
討
対
論

日本共産党

スマート IC、藤久保地域拠点施設基本計画等への財政投入は集中しており、オリンピック・パラリンピックに関する行事は、中止になり減額になったが予算額は大きかった。コロナ禍において、厳しい経済情勢が続く中、子どもの貧困問題や住民の生活に目を向け町民に寄り添った町政運営を求める。

問 どのようなように活用しているのか。
答 ストリートピアノ的な取扱いとしては藤久保公民館と総合体育館に設置したが、現在はコロナ禍で利用を中止している。それ以外に児童館や中学校に設置し活用している。

問 当初の事業目的は学校などの古いグラウンドピアノを住民から寄附されたピアノで更新することで、ストリートピアノの設置は目的ではなかったと思うがどうなっているのか。
答 学校等の老朽化したピアノに関してはマネジメン卜的な考えの中で修繕や入れ替えがなされるべきと認

識している。当初の目的全てが達成できたわけではないが、導入したピアノは活用できている。



問 事業を実施した価値はあったか。
答 思った通りの人数は集まらなかったが、価値はあった。
問 令和3年度は県からの補助金がなくなり、事業を実施していないのは間違いないか。
答 実施していない。

問 多額の不用額が生じているが、要因は。
答 学習指導員、スクールサポート・スタッフは国の施策のため、全国の市区町村で配置したこともあり、思ったよりも応募がなかったことと、学生の任用が多く、授業等のため週5日間の任用が難しかったため。
問 配置の効果は。
答 学習指導員は様々な児童生徒がいる中、個々に応じた指導が図られた点で好評だった。スクールサポート・スタッフは教師の支援がメインだが、印刷業務や採点業務、消毒業務等に教職員が時間を割かれることが減り、勤務時間の削減につながった。

問 学校施設
問 学校体育館の水銀灯交換費が予算より多くなった要因は。
答 2020年に水銀灯の生産は終了によって単価が大きくなってしまったため。

問 文化財保護
問 文化財保護審議委員会の内容は。
答 令和2年度の予算と文化財保護の事業計画等の審議、また、旧島田家住宅の屋根の状態確認をしてもらい、教育委員会に意見を述べてもらうことになった。
問 旧島田家住宅の屋根の痛みが激しいが、修繕計画があるのか、その都度不具合を直していくのか、方向性は。
答 今のところ不具合が起きた場合に修繕をしていくことになっている。審議会ではなるべく早く修繕を、という意見も出ているが、結構な予算が必要なので、要求はしていく。



特別会計

国民健康保険特別会計

歳入総額

35億6175万2040円

歳出総額

34億3770万815円

問 新型コロナウイルスの影響による減免が37件78万1900円分あったが、一番多かった減免額（中央値）は。

答 20万2100円。

介護保険特別会計

歳入総額

27億6329万2095円

歳出総額

25億1486万8164円

問 介護相談の支出がないが、一度も訪問しなかったということか。

答 その通りである。

問 施設入所者の不安や不満をどのように把握しているのか。

答 コロナ禍で家族も面会できない中、相談員が訪問することはできなかった。ウエブを用いての事業実施

反 討 対 論

日本共産党

国民健康保険税は5年間で3回も値上げされ、総額2億円以上の住民負担増となった。令和2年度国民健康保険特別会計決算では、歳入歳出差引額は1億2405万2000円になった。値上げはすべきでなかった。値上げはやめること、子どもへの均等割は免除にすることを強く求める。

も検討したが、設備等も整っていない施設もあり実現できなかった。今後検討していく。

問 施設介護給付費の不用額が2億円以上あるが、予算時に多く見込みすぎたのか。

答 利用者が計画値を下回った結果で予算が多すぎたとは捉えていない。

後期高齢者医療特別会計

歳入総額

5億3662万5175円

歳出総額

5億278万335円

企業会計

下水道事業会計

営業損益

△1億4434万9551円

営業外損益

2億7354万3620円

特別損益

△9760円

純損益

1億2918万4309円

営業損益

27万6596円

営業外損益

3055万4540円

特別損益

△60万3000円

純損益

3022万8136円

水道事業会計

問 一般会計からの繰入金がかかる要素がある中でも、変わらず繰り入れた理由は。

答 公衆衛生の観点で工事を前倒しで進めてきた。その償還金等、下水道使用料で賄えきれない部分に繰入金を充てた。

問 現預金が7億2609万5016円あるが、この保管はどのように行っているか。

答 普通預金に入れてある。**問** 運用はしないのか。

答 年間収益分の5億円ほどは流動資産としておきたい。年間を通じて5億円を担保できるようにしてから、残りを運用という形で考えたい。

問 現預金14億9116万9741円の保管状況は。

答 6億円を定期預金で運用し、残りは普通預金。

問 水道加入金の増額要因は。

答 予算計上時に見込んでいた以上に小規模開発によつて住宅戸数が増えた。**問** それでも給水収益が落ちた要因は。

答 令和2年度に行った基本料金の減免約1900万円の影響が大きい。



令和3年度 三芳町一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算にそれぞれ1億6606万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額を129億4378万7000円とする。

主な歳入

国庫支出金	5146万円
県支出金	118万円
特別会計繰入金	7163万円
町債	1億2139万円

主な歳出

藤久保地域拠点整備事業	1098万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	5253万円
道路施設維持補修事業	5695万円
公園等施設管理事業	4095万円

(千円以下切り捨て)

ドッグラン整備工事設計業務委託料 149万2700円

庁用車駐車場北東側緑地帯にドッグランを整備するため

問 面積は。

答 700～800㎡である。

問 どのような施設を考えているのか。

答 設計業務の中でこれから考えるが、基本的にはネットフェンス、ベンチ、足洗い場、リード掛けを考えている。色々なところを参考にしていきたい。

新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料 660万3300円

対象年齢 12歳以上 16歳未満を追加するため

藤久保地域拠点施設官民連携 アドバイザー業務委託料 1098万7000円

藤久保地域拠点施設事業における要求水準書、募集要項の作成等、実施方針の公表から民間事業者との契約締結に至るまでの一連の業務を円滑に進めるため

令和5年度までの継続事業

総額3814万8000円

問 今後のスケジュールは。

答 官民連携方式の方がより縮減効果があると考えられるが、この業務によって方式を決定し、令和4年6月に要求水準書の公表を予定している。令和5年度に藤久保地域拠点施設を整備する事業者と契約締結したい。

問 アドバイザー業務事業者の選定方法は。

答 選定委員会を設置し、プロポーザル方式(※5)で選定する。実績あるところを広く募集したい。

賛 成 論

日本共産党

新型コロナウイルスワクチン接種事業委託料など重要な予算が計上されているため賛成する。ただし藤久保地域拠点施設官民連携アドバイザー業務は専門性が求められる。新型コロナの影響で税収減も見込まれる。補正予算を組んでまで急ぐべきではなく、一旦立ち止まり再考を求める。

新型コロナウイルス抗原検査キット 65万円

保育所、幼稚園、学童保育室、小中学校、その他町長が認めたとこに合計1000個配布するため

浅間後ゲートボール場施設撤去工事 1004万3000円

構造物の撤去、処分及び整地をするため

緑地公園用地購入費 4096万4000円
緑地公園用地取得のため。面積は2筆で
1812.54㎡

築山整備工事設計業務委託料 68万7500円
せせらぎ水辺広場に築山を築造するため

道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業
38万1000円
埼玉県からの委託を受け、教員の指導力向上及び
地域の特色を生かした取組みを推進し、その
成果等を全県的に発信するため

第30回みよしまつり実行委員会補助金
△480万円
当初予算680万円から480万円を減額した。

住民税試算システム導入にかかる経費
37万4000円
住民税の試算と申告書が作成できるシステム
を導入するため。町のウェブサイトから利用で
きるようにする

令和3年度 三芳町一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算にそれぞれ4542万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額を129億8921万1000円とする。

第2弾中小企業応援給付金 3650万円

新型コロナウイルス感染症対策により、影響を
受けた中小企業等を支援する

5万円×730社

10月4日(月)～令和4年2月末日までの期間

問 申請基準と対象は。

答 前年度、前々年度同月比で売上20%減に
なった中小企業と個人事業主が対象。

問 昨年度第1弾の10万円から今回5万円に
なった理由は。

答 今回原資である交付金が昨年と比べて減少
した。

交通安全施設整備事業
町道幹線5号線横断防止柵設置工事
800万7000円

問 設置場所は。

答 幹線5号線の幹線17号線から南に向かっ
て県道までの450mに設置。

問 危険度が変わったのか。

答 スクールゾーンを解除するため、安全対策
は必要と考えた。



幹線5号線
の防護柵設
置箇所

三芳町教育委員
細谷 雄司
同意第5号
教育委員の任期満了に
伴う委員の選出について
議会に同意を求められま
したので、適任と認め同
意しました。

発議 第3号

三芳町議会会議規則の一部を改正する規則
議員の議員活動と家庭生活との両立支援及び男
女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、
出産・育児・介護など議会の欠席事由を整備す
るとともに、出産については母性保護の観点か
ら産前・産後の欠席期間を規定することを目的として改正する。

* 出産のための欠席…
出産予定日の6週間前の日から当該出産日の後8週間を経過する日ま
での範囲内で、期間を明らかにして欠席届を提出することができる。

報告第5号 令和2年度 三芳町一般会計継続費精算報告書について 令和1年度から令和2年度に継続になった事業の精算状況報告

(単位：円)

款	項	事業名	年度	年割額	支出済額
2 総務費	1 総務管理費	個別施設計画策定業務	令和1年	9,901,000	9,901,000
			令和2年	9,151,000	9,151,000
			計	19,052,000	19,052,000
3 民生費	1 社会福祉費	高齢者福祉計画・ 第3期介護保険事業計画策定業務	令和1年	1,650,000	1,650,000
			令和2年	1,870,000	1,870,000
			計	3,520,000	3,520,000

報告第6号 令和2年度 三芳町水道事業会計継続費精算報告書について 令和1年度から令和2年度に継続になった水道事業の精算状況報告

款	項	事業名	年度	年割額	支出済額
1 資本的支出	1 建設改良費	自家発電設備更新事業	令和1年	140,406,000	140,406,000
			令和2年	64,469,000	64,469,000
			計	204,875,000	204,875,000

報告第7号 令和2年度 三芳町健全化判断比率の報告について 令和2年度 三芳町の財政状況

令和2年度の町の財政の健全化判断比率の報告がありました。

平成18年夕張市の財政破綻により平成21年4月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定され、地方自治体は4つの財政指標を毎年度チェックし、どれか一つでも指標の基準（早期健全化基準・財政再生基準）に達すると自主的に財政健全化計画と財政再生計画を策定・実施して早期の財政再建を図ることが義務付けられました。

この比率は町の監査委員の審査を経た上で議会に報告されます。

審査の意見では「健全化比率の全ての事項について、早期健全化基準を下回り、良好な状態であると認められるが、実質公債費比率及び将来負担比率については、長期的な視点に立った目標値などを設定することが望まれる」とのことであった。

令和2年度三芳町健全化判断比率

健全化判断比率名	令和2年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	－	13.61%
②連結実質赤字比率	－	18.61%
③実質公債費比率	10.9%	25.00%
④将来負担比率	100.2%	350.00%

(備考) 算定されない場合は、「－」の記載です。

議員の賛否公開します



◀ 詳細については議会ウェブサイトをご覧ください。

○賛成 ×反対

令和3年第5回定例会 審議結果	議員名 結果	三芳みらい					日本共産党		公明党		輝				
		細田三恵	林善美	井田和宏	細合光弘	山口正史	吉村美津子	増田磨美	本名洋	小松伸介	内藤美佐子	桃園典子	久保健二	鈴木淳	菊地浩二
報告															
令和2年度三芳町一般会計継続費精算報告書について		報告のみ													
令和2年度三芳町水道事業会計継続費精算報告書について		報告のみ													
令和2年度三芳町健全化判断比率の報告について		報告のみ													
令和2年度三芳町下水道事業会計資金不足比率の報告について		報告のみ													
令和2年度三芳町水道事業会計資金不足比率の報告について		報告のみ													
規則・条例・その他															
三芳町議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
三芳町手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	×	×	×	議長 ○	○	○	○	○	○
三芳町税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
三芳町立学校県費負担教職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
三芳町道路線の認定について	原案同意	○	○	○	○	○	×	×	×	議長 ○	○	○	○	○	○
三芳町教育委員会委員の任命同意について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
補正予算															
令和3年度三芳町一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
令和3年度三芳町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
令和3年度三芳町下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
令和3年度三芳町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
令和3年度三芳町一般会計補正予算（第5号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
決算認定															
令和2年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	×	×	×	議長 ○	○	○	○	○	○
令和2年度三芳町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	×	×	×	議長 ○	○	○	○	○	○
令和2年度三芳町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
令和2年度三芳町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	×	×	×	議長 ○	○	○	○	○	○
令和2年度三芳町下水道事業会計決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
令和2年度三芳町水道事業会計決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
請願・陳情・要望															
三芳町内交通渋滞解消に向けての請願について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
中華人民共和国政府に対して、自由や民主主義といった普遍的価値が保障されるよう働きかけることを求める意見書を提出する請願書	不採択	○	×	×	×	×	×	×	×	議長 ×	×	×	×	×	×
県内農産物と地域経済、消費者の食を守る条例制定に向け意見書の提出を求める陳情書		配布のみ													
辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情		配布のみ													
人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること		配布のみ													
意見書															
原子力に依存しない2050年脱炭素に向けた取り組みを求める意見書について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	議長 ×	×	×	×	○	○
ヤングケアラーへの支援強化を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○
出産育児一時金の増額を求める意見書について	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	議長 ○	○	○	○	○	○



コロナ感染症から命を守る対応を

日本共産党
吉村美津子
よしむらみ つこ



問 6月議会一般質問で、コロナ禍での聖火リレーはやめることを求めて質問をした。しかし、町は7月6日、大勢の人の中で実施した。防災無線で町民には自粛をお願いしているにもかかわらず、感染を広げる心配のある沿道での聖火リレーを行った。また、その様子を広報で何ページにもわたって掲載している。町長は、この行為をどのようにとらえているのか。

答 町長 聖火リレーについては悩んだが、要員の要請を行い実施した。広報でその様子を知らせることは大事だ。

問 共産党議員団は6月25日オリンピックへの子ども観戦をやめるよう町長へ申し入れをした。そのとき町長は、「中学生の観戦はすすめたい」と回答している。国・県は無観客対応を決定した。町も子どもの観戦をやめたが、この対応について町長はどう思うか。

答 町長 やむなく参加をやめた。
問 コロナ禍の中、町は町民の生活を支援するべきだ。学校給食費の半年間の無償化や水道料金の基本料金の

半年間の免除などを提案するがどうか。
答 町長 可能性があれば検討したい。

三芳スマートICへの大型車導入は問題

問 町は、三芳スマートICへの大型車の通行計画を進めている。地域住民は、交通事故を大変心配しており反対の声も多い。財政面でも国（独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構）・東日本高速道路（株）町で総額22億円の支出予定となっている。町の支出額は9億円を超えるのか。

答 総合調整幹 9億円を超えることも考えられる。



7月6日に行われた聖火リレーの様子



効果的な情報と支援・環境対策を

公明党
桃園典子
もも ぞの のり こ



効果的でわかりやすい情報提供の体制構築を

問 町の情報ツールLINEのメニュー機能を増やしては。

答 政策推進室 充実を図るため早急に対応したい。

問 新着情報や重要な情報をLINEで迅速に発信しては。

答 政策推進室 各課が情報発信出来る様サポートしたい。

環境を守る行政と教育の取組みを

問 プラごみ削減に向けた目標の設定や、所沢市「マチごとプラスチックごみ削減」の様な取組みをしては。

答 環境課 大いに参考となる取組みだ。どの様に具体化出来るか検討したい。

問 子ども達への環境教育充実の為、「ESDクエスト」や「かわさきエコライフゲーム」など絵本やゲーム感覚での学びを学校・家庭で取り入れてはどうか。

答 学校教育課 各学校に情報提供し活用を進めたい。

教育相談の充実を

問 今年度から小学校にすこやか相談員が配置されたが、各学校での相談件数は。

答 学校教育課 三芳小39件。藤久保小88件。上富小10件。唐沢小91件。竹間沢小34件。

問 子ども達の心のケアの重要性を考え、相談員を全校に配置してはどうか。

答 学校教育課 相談員の配置で支援が充実してきている。

住民に寄りそう支援を

問 家族の逝去に伴う諸手続きを分かりやすく説明した、おくやみガイドブックを当町でも作成しては。

答 住民課 現在の物を詳しくし体裁を整えお配りしたい。

答 町長 手続き案内を詳しくした物を提供すると共に相談体制も充実していきたい。





ごみ不法投棄は犯罪との周知を!

公明党
内藤美佐子
ないとう み さ こ



問 違反ステッカー貼付の違反ごみへの対応は。

答 環境課 引取りのないゴミはしばらく放置されるが、住民からの連絡を受け町が収集・処分している。

問 不法投棄対応マニュアルの策定が必要では。

答 環境課 処理の仕組みはできているが検討する。

問 不法投棄罰則(5年以下の懲役や1000万円以下の罰金等)の周知は。

答 環境課 効果的な罰則規定の周知を考える。

問 在住外国人のために多言語のゴミ出しアプリは。

答 環境課 現アプリは対応できていない。運用面での今後の課題と考える。

問 不法投棄常習場所に監視カメラの設置が必要では。

答 環境課 防犯・防災対応も含め、全庁的に慎重に検討する。

庁舎トイレの洋式化

問 来庁者の多い1階トイレの洋式化改修を急いでいる。

答 町長 要望の声を聞いています。可能な範囲で早急にまずは1階から進める。

中学校制服の改善は

問 女子生徒の制服にズボンの選択を可能にしては。

答 学校教育課 性の多様性の尊重として協議中だ。

問 抜本的な制服変更は。

答 学校教育課 各学校で保護者や生徒の声を聞きながら協議を始める。

子宮頸がんワクチン

問 令和2年度に対象者宛に接種の情報提供をしたがその効果と今後の予定は。

答 健康増進課 未実施の時より接種回数は増えている。今後は新小学校6年生に情報提供する予定だ。

問 対象年齢を過ぎた方への接種助成制度創設は。

答 健康増進課 今後、近隣市を調査し検討する。



ゴミステーションに放置された不法投棄ゴミ



将来の町財政の硬直化を危惧する

輝
鈴木 淳
すずき じゅん



問 将来の公債費返済シミュレーションでは毎年8億円の起債(借入)を見込んでいるが、過去10年間の起債の平均は約14億5000万円。8億円とした根拠は。

答 財政デジタル推進課 過去10年間の起債額からゴミ処理施設、中央公民館、給食センターの建設などの大型事業を除いた額を考慮して8億円に設定した。

問 もう少しこの事業自体が将来の町財政に与える影響を住民に伝えるべきでは。

答 施設マネジメント課 今まで公共施設の更新費用平準化の必要性を広報6月号やまちづくり懇話会で説明してきたが、今後も要求水準書を策定する中で財政負担についても周知したい。

問 令和4年度中に事業費の上限が確定する。その額や社会情勢によっては事業開始の延期などを検討する考えはあるか。

答 町長 大きな社会情勢の変化がなければこのまま進めたいが、財政状況等はしっかりと見定めていきたい。

町の人口動態をどう見ると

問 公共施設マネジメント基本計画の目標を達成するための適正化方策には、施設の「統合(廃止)」の記載もある。適正化方策が町の方針ならば、令和12年度までに予定されている上富小学校の廃止の準備はいつ頃から始めるのか。

答 教育総務課 令和4年度に検討委員会を立ち上げ、令和5年度以降に検討を開始する予定。

問 国勢調査の速報値では周辺自治体が軒並み人口増の中、三芳町は4人の減。この結果をどう考えるか。

答 政策推進室 今後も区画整理事業地内での宅地造成が続く、人口維持の傾向が続くとみている。



将来の財政予測をしっかりと



三芳みらい
山口正史
やまぐちまさふみ

新型コロナウイルスの対応について

問 新型コロナウイルス感染症の第5波が収束後も冬には更に感染拡大する可能性もある。その時に備えて町としても準備をしておく必要があると考えます。一人暮らしや一人親家庭の自宅療養者は食料や飲料水の入手が困難になるが、SNSを利用して食料の援助が行えないか。

答 健康増進課 県の支援もあるが、町でも支援体制を整えているところだ。

問 重症化予防として抗体カクテル療法ステーションが設置できないか。

答 健康増進課 医療者の人的資源や場所の問題など町での対応は考えていない。

問 今後の住民の命を守る政策は。

答 町長 町ではワクチン接種を積極的に行い中学生の接種率も40%になり、成果が出ている。今後も町民の命を守る政策を、先進事例を参考に何が出来るか検討したい。

町の財政について

問 町の下期の財政状況は。

答 税務課 法人住民税の下期の予測だが、法人税割

りが令和2年度及び令和3年度の前期を比較して税制改正で3割、企業の減収・減益で1割の減収を予想している。

通学路の安全対策について

問 通学路の安全基準は定めているか。

答 学校教育課 基準はないが、道路状況を総合的に判断し安全に登下校できるように通学路を定めている。

問 危険な通学路は何力所か。

答 学校教育課 7月の総点検に於いて改善が必要な箇所が小中学校から29箇所報告されている。



食糧支援



輝
菊地浩二
きくちこうじ

令和3年度交付団体になりました

令和3年8月、総務省より三芳町が普通交付税交付団体となることが発表された。普通交付税は地域間の財源の不均衡を調整し、どの地域に住んでも一定の行政サービスが提供されるようにするため国から交付される税で、自治体の財政力を示す財政力指数が1を下回ると交付団体となる。

三芳町は今年度8年ぶりに交付団体となった。

問 交付団体となる要因は。

答 財政デジタル推進課 高齢者福祉など社会保障関連の経費の増加や新型コロナウイルス感染症などの影響により財源不足が生じた。

問 令和4年度以降の見通しは。

答 財政デジタル推進課 新型コロナウイルスの影響がどの程度継続するのかわからない。歳出では社会保障関連経費は増加傾向にあり、歳入でも新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により大幅な改善を見込むのは難しい。令和4年度も引き続き交付団体となることも予想される。

問 交付団体となることで三芳町の行政運営にどのよ

うな影響があるか。

バス路線の再編

答 財政デジタル推進課 交付団体となった要因をしっかりと受け止めて、今後の財政運営に努めていかなければならない。

問 令和3年11月の連休後に新しいバス路線が運行される予定だが計画に変更はないか。

答 政策推進室 予定しているスクールゾーンの解除が延期になったが、予定通り運行できるよう準備している。さらに解除が延びれば運行開始に影響が出てくる。

	令和2年度	令和3年度当初	令和3年度確定
基準財政収入額	66億5615万8千円	65億8219万9千円	64億9042万2千円
基準財政需要額	62億3444万3千円	62億9564万円	64億9627万2千円
差額	4億2171万5千円	2億8655万9千円	-585万円



町内ドッグランの建設計画決定!

輝
久保健二
くぼけんじ



問 3月定例会より提案しているスケボーパークの建設について若い世代の方が集まる場を創出する取組みを積極的に仕掛けることが、三芳町の発展につながると思う。気軽に利用出来るパークの建設について所見は。

答 町長 若い人がスポーツが出来ると環境を支援していくことが大事と感じている。多くの愛好者の声を聞き建設に向け考えたい。

問 何年もの間継続し、提案し続けているドッグランの町内建設の進捗状況は。

答 都市計画課 庁舎敷地内、庁用車駐車場付近の緑地帯の一部をドッグランの建設地として設計業務を予定している。来年度には整備したいと考えている。

問 スクールゾーンの時間帯は国道を運行し、スクールゾーンの時間帯以外は幹線5号線を運行すれば、町が望んでいるバスの運行も出来ると思うが、なぜ改めて課題がある上、保護者、地域住民からの反対の声が多い解除を選択するのか。

答 政策推進室 地域公共交通会議で、利用者が定着するには同一ルートの方が

定着し易い、といった意見が出されたため。

問 幹線5号線、17号線の歩道内に藤久保小学校周辺の歩道に設置されているような防柵を設置するなど、目に見える整備等の対応は。

答 道路交通課 歩道の整備がされ、安全の確保はされているが検討したい。

問 緊急事態宣言下の中、成田空港に町長、担当課正副課長が見送りに行ったようだが、国民、町民が帰省するのも自粛が求められている中で、示しがつくのか。

答 オリンピアード推進課 選手団への最後のメッセージを届けるために見送りに行った。但し議員からの意見は真摯に受け止めたい。



長年提案し続けてきた町内ドッグランの建設



新型コロナ対応の改革について

三芳みらい
細田三恵
ほそだみつえ



問 新規感染者数ばかりが報道されているがそれでは、恐怖心を煽る偏った報道となる。町のHPではコロナ感染症の発生状況の累計ばかりが掲載されている。感染者数だけでなく回復者を伝えることが重要であり現状では「治療中の患者数、入院数、重症数等」が認識できない。

答 健康増進課 朝霞保健所管内で発生している膨大な陽性者数の状況を管内市町へ提供するのが困難と連絡を受け情報発信が出来ない状況である。

問 新型感染症「2類」にしたことが医療崩壊の主因との指摘が多くあるが町の見解は。

答 健康増進課 報道等によると「2類」から「5類」に変更するという議論が出ているが、賛否両論あり不透明であることも事実である。

問 外出自粛やマスク着用の弊害(浅い呼吸、酸欠、認知症進行等)についてどの様に把握しているか。

答 健康増進課 関係機関からの状況によりできる限り把握するよう努める。

問 夏休みの小中学校の

プール開放の現状は。

答 学校教育課 小学校1校で水泳教室利用があった。

問 他の学校では、なぜ水泳教室は開催しなかったか。

答 学校教育課 検討した結果、開催しなかった。

地球温暖化対策の推進の是非について

問 地球温暖化対策としてのCO₂削減は、逆効果と考えるが、当町でのCO₂排出削減の取組みの内容は。

答 環境課 緑地の保全、緑化の推進に取組んでいる。又、役場でも地球温暖化対策実行計画をもってエネルギーの消費、CO₂の削減に取組んできた。

免疫力アップ





ヤングケアラーへの理解を深める



三芳みらい
林 善美
はやし よし み

問 ヤングケアラーの支援体制、相談体制は。

答 **福祉課** ケアラーに特化した相談窓口はない。負担軽減を図ったり、個別相談や家族会の案内など最も適したサービスを提供している。

答 **学校教育課** 担任・養護教諭・スクールカウンセラー等にいつでも相談できる。研修等を通して教職員の意識を高めている。

問 条例の制定は。

答 **福祉課** 検討はしていない。課題を解決する中で条例制定に効果があれば検討する。

少子化を見据えた部活動の在り方について

問 現在、合同部活動となっている部活動はあるか。

答 **学校教育課** 三芳東中と藤久保中のサッカー部、三芳東中と富士見市の中学校の野球部。

問 部活動の在り方についての考えは。

答 **教育長** 生徒数・教員の減少で持続的な運営体制を考える必要がある。生徒の活動機会が損なわれないように、長期的には学校単

位での活動から地域単位での活動へ、視野を広げた体制の構築についても今後研究していく。

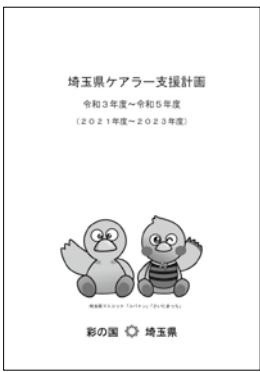
オンラインを活用した地域活性化について

問 中止となったイベントの代替案や新規事業としてeスポーツを取り入れているか。

答 **オリンピックアード課** 体育協会やスポーツ推進委員等に意見を伺い、一つの手法として考えていきたい。

問 三芳町の魅力を全国に発信できる「子供向け社会体験アプリ」の導入は。

答 **こども支援課** 子供達が町に興味を持ってくれると考える。費用対効果も含め研究する。



埼玉県ケアラー支援計画に基づき、県と連携



ライフバス7番線休止の代替策を



日本共産党
本名 洋
ほん な ひろし

問 ライフバス7番線の休止時期は。

答 **政策推進室** 11月を予定している。

問 いつまで休止なのか。

答 **政策推進室** 特に期間は設けていない。

問 復活の可能性は。

答 **政策推進室** 可能性はあるが、財政的負担も考慮しないと難しい。

問 7番線が無くなることへの代替策は。

答 **政策推進室** 8月9日の住民説明会で頂いた意見・提案等を基に事業者と協議し判断したい。

問 今後の公共交通の在り方をどう考えるか。

答 **政策推進室** バス路線の再編、公共交通補助事業の充実、シェアサイクルの導入など、住民主体の移動サービスを支援していく。

問 町長は住民説明会に参加して、今後の公共交通をどのように考えるか。

答 **町長** 限られた財源の中で町全体の利便性を良くするということの意味で理解願いたい。できることは速やかに対応したい。

スクールゾーンの解除と住民合意

問 住民アンケートについては、多くの住民から「どう答えて良いか分からない」と聞いている。設問方法に問題は無かったのか。

答 **政策推進室** 問題は考えられない。

問 住民と丁寧話し合ってもらいたいが、自治安心課 住民説明会を実施する。

待った無し地球温暖化対策

問 多くの自治体が表明している2050年二酸化炭素実質排出量ゼロ表明を当町も行っては。

答 **環境課** 前向きに検討する。





日本共産党
増田 磨美
ます だ ます み

危険なブロック塀などの改善を

問 町の危険ブロックに関わる制度としては、「生垣設置奨励補助金」限度額5万円があるがこの制度はブロック塀を撤去するだけでは対象にならない制度か。

答 **都市計画課** この制度はブロック塀等を撤去して生垣を造成する、または新たに生垣を造る時の助成となっている。

問 自然災害から命を守る観点から危険ブロック塀等の撤去・改修補助等の安全対策を地域防災計画、耐震改修促進計画に位置付ける必要があると思うがどうか。

答 **自治安心課** これまでの災害等に学びながら自然災害等も次の地域防災計画の改定時には検討したい。

問 埼玉県内では、約34%の自治体がブロック塀等の改修支援を制度化している。危険なブロック塀等の問題を早急に制度設計することが必要と思うがどうか。

答 **町長** 一つ大きな災害があるかわからない。住民の命を守るといふ点では、行政としても一歩踏み込んだ支援体制が必要と感じた。先進事例を参考に担当課と協議をしていきたい。

町の職員募集の記事に障がい者募集の記載を

問 令和2年度、令和3年度の町の職員募集案内やチラシに「障がい者含む」とわかるような記載はあるか。

答 **総務課** 書いてはいないが幅広く募集している。

問 精神障がい、発達障がいの方たちからは記載がなければわからないとの意見があったがどう考えるか。

答 **総務課** 今後は、誰にでもはつきりわかるように募集記載を考えていく。

その他の質問

藤久保地域拠点施設基本計画の藤久保小学校の緑の保全等について



藤久保小学校の緑を残そう



三芳みらい
井田 和宏
い だ かず ひろ

今後の観光施策について

問 コロナ禍でこれまでの施策と変えたところは。

答 **観光産業課** コロナ感染症防止対策をしながら、またマイクロツーリズムの考え方を取り入れた形で行っている。

問 観光に特化した部署や組織の必要性は。

答 **観光産業課** 情勢を見ながら、また町のバランスや優先順位を鑑みながら各部署と調整していきたい。

問 観光分野における人づくりは。

答 **観光産業課** 人づくりの一環として「農業遺産コンシェルジュ養成講座」や「農業塾」を行っている。コロナ禍においても人づくりは大変重要と考える。

問 情報発信の拠点整備は。

答 **観光産業課** 課題を整理し、町の観光資源を活用したシテタイプロモーションと併せて効果的に発信していきたい。

問 観光の拠点、また農業遺産の拠点としての農業センターの機能強化は。

答 **観光産業課** 今まで以上に町の魅力や伝統農法を発信できる施設にしたい。

問 駐車場の整備は。

答 **観光産業課** 管理業務

問 観光産業課

や経費負担が発生することから慎重に検討したい。また役場駐車場やパサール三芳を活用したパークアンドライド等も検討したい。

問 三芳スマートICのフル化は、観光分野での活性化も期待される。今後の調査研究は。

答 **総合調整幹** 事業進捗や開通後の社会情勢等を注視しながら関係各課、関係機関と調整しながら検討していきたい。

問 これまでの観光事業や施策の検証は。

答 **観光産業課** 行政評価や入込客数を活用し検証している。事業によってはアンケートも活用している。

問 観光産業課



整備された緑の散歩道

反 討 論 対 論

日本共産党

中国における香港の民主化運動や少数民族に対する弾圧は問題であるが、「ジェノサイド国認定」のような対決を煽る働きかけではなく、国際法を守るよう論理立てて働きかけていくべきである。中国だけではなく世界の全ての人々の人権が守られるよう力を尽くしていくことが重要である。

問 人権問題はアフガニスタン等他の国でもあるがなぜ中国だけをあげたのか。

答 中国は300万人規模の人権弾圧を行っており、香港、台湾、尖閣と領土を狙ってきている派遣国家であるため隣国としての危機

〔質疑応答〕
以上2点を国へ意見書として提出を求める請願とする。

行っている行為を「ジェノサイド」と認定すること

2. 中国においても基本的な人権、自由や民主主義という国際社会における普遍的価値が確実に保障されるよう、強く働きかけること

賛 討 論 成 論

三芳みらい

ヤングケアラーの適切な把握とヤングケアラーを社会で支える仕組みづくり、子ども自身がヤングケアラーについて知ること、気軽に相談できる窓口の設置等が重要であると考える。埼玉県では今年度「埼玉県ケアラー支援計画」が策定された。一体となり支援に取り組んでいただきたい。

ヤングケアラーへの支援強化を求める意見書
ヤングケアラーは家庭内のデリケートな問題であることなどから表面化しにくく、支援制度が十分に確立されていない。

自治体と連携したきめ細かい丁寧な調査、専門の相談体制の整備、子どもの健全な成長と学びの機会

感を感じている。

本会議で審議し採決を行った結果、賛成少数で不採択となった。

意 見 書

賛 討 論 成 論

日本共産党

表面化しづらいヤングケアラーが昨年国の調査で、ようやく実態が明らかになった。中には学校に行きたくても行けないなど深刻なケースもある。子ども達の将来の可能性を摘んでしまうことにもなりかねない。家庭だけではなく社会全体の責任として、一日も早く支援が届くこと願う。

**賛
討
論
成
論**
公明党
成長期における継続的な家族介護の負担は、子どもの心身の成長や進路選択等に大きな影響を及ぼす懸念がある。しかし、周囲からは見えづらく理解や支援が届かない状況が続いてきた。悩んでいる子どもの声なき声をキャッチし、必要な支援と環境整備が進む事を願い賛成討論とする。

を保障するため、公的な支援につなげる仕組みづくりを求める。

反 討 論 対 論

細田三恵

既に子育て支援として「児童手当・こども医療費助成」等が行われている。ばらまき政策は増える一方で、この流れは将来の増税に繋がり子どもたち世代に間違いなくツケを回すことになる。税金負担を軽くし、経済活動を活性化させ、所得を増やすことが最高の出産支援、子育て支援だと考える。

出産育児一時金の増額を求める意見書
出産にかかる費用は年々増加し、現在の42万円の出産育児一時金では賄えない状況になっている。安心して子どもを産み育てられる環境を整えるためには、子どもの成長に応じたきめ細かな支援が重要で、子育てスタート期に当たる出産時の経済的支援策として一時金の増額を求める。



三芳町ごみ分別アプリ がスタート!!



便利だよ!



ごみの収集日や分別方法・出すときの注意点などを簡単に確認できるスマートフォン・タブレット端末向けのアプリです。無料でダウンロード出来ます。

是非 ご活用ください!



カレンダー機能

お住まいの地区を設定することでその地域のごみ収集日程が確認できます。

主な機能



ごみ分別辞典

捨てたいごみを検索し、分別方法や捨て方を確認できます。

よくある質問

お問い合わせの多い質問をQ&A方式で確認することができます。

ごみの出し方

ごみの種類ごとに、出し方を確認することができます。

【インストール方法】
下記 QR コードからインストールできます

iPhone



android



粗大ごみ処理手数料納付券の取扱所を確認できます。また、現在地からお近くの販売店を検索できます。

ごみ関連マップ

収集日の前日または当日に収集品目(種別)をお知らせします。お知らせする品目(種別)、時間は自由に設定できます。

ごみ出し忘れ防止アラート機能

お住まいの地区のエリア設定(Aコース、Bコース)を間違えないでね



誰でも今すぐできる! 環境にやさしい 4R!!

ごみを減らす4Rの取組み

リフューズ (Refuse) 発生回避

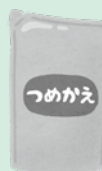
…ごみとなるものの受け取りを断る



- ・マイバックを持参し、レジ袋や過剰包装を断る
- ・安いからといって、必要以上に買いすぎて無駄にしない

リデュース (Reduce) 排出抑制

…ごみとなるものを減らす



- ・詰め替え用などを買うことで容器のごみを減らす
- ・生ゴミを排出する際は、水を切って重さと量を減らす

4Rって
なに?

リユース (Reuse) 再利用

…繰り返して使う



- ・フリーマーケットやリサイクルショップなどを積極的に活用する
- ・物を直ぐに処分せず修理などをして繰り返し使う

リサイクル (Recycle)

…資源として再利用する



- ・古紙類、古着、ペットボトル、飲み物の缶、びんなど集団回収に出す
- ・生ゴミを堆肥にする

豆知識

ごみの不法投棄は犯罪となります! * 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第25条

「5年以下の懲役若しくは1千万円以下の罰金に処し、またはこれを併科する。」とされています。

なお法人が不法投棄を行った場合は「3億円以下の罰金刑」と規定されています。

ご存知ですか?

家電や家具・自転車などはもちろんのこと、生ごみや紙くず、空き缶やタバコのポイ捨ても不法投棄です。



入間東部地区事務組合報告

入間東部地区事務組合議会

入間東部地区事務組合は三芳町・富士見市・ふじみ野市2市1町の消防・防災、衛生に関する業務を行っています。入間東部地区事務組合議会はそれぞれの自治体から5人ずつの議員が選出され15名の議員で構成されています。

9月30日、令和3年第2回入間東部地

区事務組合議会が開かれました。令和2年度決算の審議が行われ、総員の賛成で認定されました。

歳入歳出決算総額 46億6382万9851円

歳入総額の72.1%が構成市町の負担金で賄われました。

各市町の負担金

区分	令和2年度 負担金総額	令和元年度 負担金総額	前年度比	増減率
富士見市	13億1670万3036円	13億8300万4718円	△6630万1682円	△4.8%
ふじみ野市	13億6340万330円	14億3857万2300円	△7517万1970円	△5.2%
三芳町	6億8319万3634円	7億2167万4982円	△3848万1348円	△5.3%
計	33億6329万7000円	35億4325万2000円	△1億7995万5000円	△5.1%

前年度比で減少した主な理由

- ・東消防署富士見分署庁舎建設事業で組合債（金融機関から借り入れ）を活用したことにより当年度における各自治体の負担金支出が減少した（ローンにしたため令和2年度の支払い額が減少した）。
- ・前年度は38メートル級はしご付き消防自動車の購入があったこと（1億7995万5000円皆減）

バイオガス発電事業開始（令和2年9月より）

老朽化により建て替えたし尿処理施設の余剰地を民間企業に貸与しています。

- ・用地貸付収入 1086万2172円
- ・し尿処理施設の排水をバイオガス施設で利用することによる下水道使用料削減効果 738万5301円
- 食品工場や小売店等の食品関連事業者から排出される食品廃棄物を処理し、得られたバイオガスを用いて発電を行い、発電した電力は再生可能エネルギー固定価格買取制度を用いて売電を行っています。
- ・発電量 13MWh/日（1650世帯分に相当）



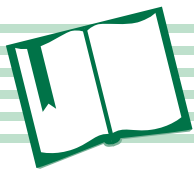
民間企業と事務組合が連携しバイオガス発電を行っています

表紙写真のご紹介

8月9日の緊急事態宣言の影響で、町内の小中学校は2学期の始業を8月25日から9月1日へ延期、9月10日までは分散登校の対応を取りました。登校しない子どもたちが受けたオンライン授業の様子です。

初めての試みにはじめは戸惑っていた子どもたちも次第に慣れたようで、「思っていたよりも楽しかった」「わかりやすかった」「安心して授業を受けられた」「やっぱりみんなと教室で授業を受けたほうが楽しい」といった声が聞かれました。

今後はコロナ禍といった非常時だけでなく、不登校児の学習支援にも対応できるようになるように検討されていきます。



用語集

議会だよりに出てきた用語の説明です。

※1 經常収支比率 (P2)

町税など毎年度決まって入ってくるような収入の中から、人件費、扶助費（福祉などに掛かる費用）、公債費（借金の返済）といった毎年度必ず支出しなければならない経費にどれだけ使われたかを示したものが經常収支比率です。

この数字が高いほど自由に使えるお金が少ないということです。家計に例えるなら、毎月の給料から外食や旅行、貯金などに回せる余裕がどれだけあるかということです。

※2 将来負担比率 (P2)

収入に対する将来町が負担する借金などの割合。数値が高いほど、将来、財政を圧迫する可能性が高いことを示します。

この数値が350%になるとイエローカード（早期健全化基準）となります。

※3 実質公債費比率 (P2)

収入に対する1年間で支払った借金返済額などの割合。数値が高いほど、財政の弾力性が低下していることを示します。

数値が25%でイエローカード（早期健全化基準）、35%でレッドカード（財政再生基準）となり、国の関与の下で財政再建に取り組むこととなります。

※4 ご当地ナンバー プレート (P3)

地域ごとにマスコットや名物などがデザインされたナンバープレートで、当町においては町制施行50周年記念事業のひとつとして作成されました。



※5 プロポーザル方式 (P8)

業務委託先を決める際には、業務遂行に要する価格の安い方を提示した者を選定する競争入札方式が用いられることが多くなっていますが、業務の内容が技術的に高度なものや、専門的な技術が要求されるものに利用されるのが「プロポーザル方式」という入札方式です。応募した事業者が仕様書に示された業務に対して企画提案書を提出し、その企画内容で競う方式です。

避難訓練を実施しました (8月30日(火))

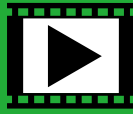
第5回定例会の初日に、議会傍聴者を含む議場からの安全・確実な避難の方法を確認するとともに、議員の防災意識を高めることで減災に繋げることを目的に、議会開催中の火災発生を想定した避難訓練を実施いたしました。平成26年から毎年実施しているこの避難訓練は、被災想定を変化させながら今後も実施していく予定です。



お詫びと訂正

議会だより第181号の8ページに掲載した人権擁護委員のお名前に誤りがありました。正しくは「忽滑谷 美恵子」様です。訂正させていただくとともに、ご迷惑をおかけした皆様に深くお詫び申し上げます。今後このようなことがないように、取り組んでまいります。

議会の動画を配信しています。



議会の動画をインターネット動画配信サイトYouTube上でご覧になることができます。本号の記事中にある動画のQRコードを読み込むか、右記QRコードにアクセスしてください。



三芳町議会
中継ページ

次の議会定例会は

11月30日(火)
開会の予定です



編集後記

残暑から急に涼しくなったり、いきなり土砂降りの雨になったりと目まぐるしい秋の天気変化の中、第5回定例会は8月30日に始まり、9月24日まで開かれました。

9月定例会では令和2年度の決算認定があり、連日遅くまでの審査となりました。町民の皆様から預かった税金が1年間どのように使われたかチェックする議会としての大事な役割です。私たちの質疑や議論が今後の行政運営や住民福祉に活かされることを願っています。

新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの行事が中止となり、ふれあい座談会(議会報告会)も開催できなかったことから、議会としてなかなか町民の皆様と接する機会が持てないことが残念です。ふれあい座談会の今後については検討中ですが、とりあえず議会だよりを通じて議会活動の一端に触れていただければと思います。

議会広報広聴常任委員会

(副委員長 本名)

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
山名	井田	鈴木	細田	増田	桃田	落合	委員
正洋	宏淳	恵美	三磨	磨磨	典典	信信	委員

声の議会だより：朗読ボランティア「けやき」の皆さんが朗読したものを三芳町議会ウェブサイトでご覧いただけます。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です